

「ほんものは続く、続けるとほんものになる」

あいさつ・そうじ頑張ってます！【7月17日（金）】

6月後半から7月にかけて、児童会では「あいさつ運動（シールはろう〔ハロー〕運動）」を続けてきました。児童玄関には、「あいさつ」の結果をシールを貼って、わかりやすく見える化して、より意識できる工夫をしていました。

7月に入り、今度は「みんなの学校をきれいにしよう」という目標を立て、清掃活動の活性化に取り組んでいます。伊佐小学校では、縦割り掃除（1年から6年までが一緒に掃除をする）でそうじをします。掃除に取り組む具体的な内容には、「自分から動く」「しゃべらず掃除をする、もくもくそうじ」「これまでやりきれていないところに目をつけて動ける」など、少しずつレベルアップを図りながら、進めています。この取り組みでも、掃除の様子やがんばりがわかるよう、見える化で工夫しています。



学校内で、そして地域の中で、子どもたちのがんばりが「見える化」されることを期待しています。しかし、これらの取り組みは、ある一定の期間だけするものではありません。先日の全校朝会では、「ほんものは続く、続けるとほんものになる」という東井義雄先生の言葉を引用して、続けることの大切さを伝えました。日々、先生方も児童のモチベーションが維持できるよう、事ある毎に話をさせていただいています。「ほんものは続く、続けるとほんものになる」この言葉通り、子どもたちの良い習慣となることを願っています。

「ほんものは続く、続けるとほんものになる」この言葉通り、子どもたちの良い習慣となることを願っています。